

る

舌音にして單子音の一つ。

糸筋。

刑罰の名。流罪に同じ。

四段およびう變、ナ變の動詞の下に来る

詞。「一」他動詞を被然言(受身)にする時の

形。○「犬人に打たる」鼠猫に捕はる」「二」

自動詞、他動詞を自然言(おのづから然る

詞)にする時の形。○「道にて行きあはる」

「何さなく昔おもはる」「三」敬語とする時の

形。……其人に對せずして陰にて言ふ時の

敬語なり。○「何がしの君よく歌をよまる」

「四」たゞ同じ意の半過去にする時の形。

……りの變化。○「咲ける花」降れと雪」

土俵など積みて敵を防ぐ所。●岩。

「一」たぐひ。●種類。「二」やから。●族

類。●親類。

類別(名) 種類によりて別くる事。●分類。

△(動)―類別す。

類中(名) 親類中。●親戚。

るゐるゐ

累々(副) 引續く有様。●つゞね。●(又)

累々こ。

るゐえゐ

累葉(名) 代々。●累世。●累代。

るゐたい

累代(名) 代々。●累葉。●累世。

るゐたい

類題(名) 歌、詩、發句など題の種類によりて

分類したるもの。○「類題和歌集」

るゐれい

類例(名) 似寄りたる事の先例。

るゐれき

瘰癧(名) 病の名。頸部に生ずる一種の腫物。

るゐねん

累年(名) 毎年々々。●連年。

るゐらん

累卵(名) 卵を積み重ねる事。……非常に危

るゐく

險なる事の比喩。

るゐく

類句(名) 古歌の句を其頭字に依りて分類せし

るゐく

字引。○「古今類句」「萬葉類句」

るゐく

類火(名) 類焼。

るゐやく

類藥(名) 類似的藥劑。

るゐけ

累家(名) 代々續きたる名家。●重代の家。

るゐこつ

淚骨(名) 人體の眼下にある骨の名。

るゐこん

淚痕(名) 涙に濡れたる痕。

るゐざ

累座(名) 人の罪にまきかへせらるゝ事。●連

るゐじ

座。△(動)―累座す。

るゐじ

類似(名) 似寄り。

るわし

類書(名)

類似の書物。

るわせ

類焼(名)

よそより出でたる火にて我家の

焼くる事。●類火。△(動)―類焼す。

るわしん

類親(名)

一類親族。○今昔「親ごも、なく

類親もなければ」

るわじ

類聚(名)

類の同じき事柄を集め記す事。○「類

聚國史」「類聚三代格」△(動)―類聚す。

るわせい

累世(名)

代々。●累代。●累葉。

るわせつ

縲綖(名)

「一」罪人を縛る縄。「二」捕縛せら

る事。●就縛。○謠曲「縲綖の責を受く

る」

るわせん

累遷(名)

官位の打續き昇進する事。△(動)

―累遷す。

るわす

類(自動サ變)

「一」似寄る。●類似する。「二」

同伴する。○大和「三條の右の大臣異上達部

なごるゐしてまゐりたまひ」

るらう

流浪(名)

さすらひある事。●流離。△(動)

―流浪す。

るにん

流人(名)

流罪に處せられたる人。○盛衰「鬼

界島の流人」

るち

流注(名)

腫物の名。

るり

瑠璃(名)

「一」佛教にて七寶の一とする名玉。

「二」瑠璃色の略。「三」瑠璃鳥の略。

るりろ

瑠璃色(名)

紫の光ある紺色。

るりてう

瑠璃鳥(名)

小鳥の名。瑠璃色にて能く囀

る雀の如きもの。

るりくうにらい

瑠璃光如來(名)

薬師如來の一

名。

るりこん

瑠璃紺(名)

瑠璃色の紺に近きもの。

るる

縲縲(副)

詳細に。●つぶさに。●ねんごろに。

るつぼ

坩堝(名)

金屬を熔解するに用ふる壺。

るつう

流通(名)

世間に通用する事。△(動)―流通す。

るうふる

(名)

閑語より来る。○遠方の人を呼ふに用

るまた

(名)

漢字の般、殿等の右の方。○片假名のル

と漢字の又との二字より成立つもの意。

るけい

流刑(名)

刑罰の名。―流罪に同じ。

るげん

縲言(名)

詳細なる談話。

るふ

流布(名)

世上一般に弘まる事。○謠曲「佛法流

るてん

流轉(名)

善因より善果に。惡因より惡果に。こ

生れつゝ死につゝ順次に種々の世界を経め

ぐる事。●輪廻。(佛教)

るれん

流罪(名) 「(一)王朝時代の刑罰の名。配處を定めて罪人を流し遣す事。死より一等軽くして近中遠の三等あり。近は越前、安藝。中は信濃、伊豫。遠は伊豆、安房、常陸、佐渡、隱岐、土佐。(二)幕府にても諸侯にても配下の士民に行ふ島流の刑罰。

るるい

留守事(名) 「(一)留守の間にすべき用事。

「(二)留守番の慰勞に設けおく飲食物。

るさいば

流罪場(名) 流罪の人の居所。●配所。

るさな

盧遮那(名) 盧遮那佛の略。

るさなぶつ

盧遮那佛(名) るしやなぶつに同じ。

るしやな

盧遮那(名) 盧遮那佛の略。

るしやなぶつ

盧遮那佛(名) 梵語。◎大日如來。●大佛。

るじゅう

縷述(名) 詳細に述ぶる事。●△(動)——縷述す。

るす

留守(名) 「(一)天皇の御不在もしくは主君主人の不在の時其跡を守る役。又は守る人。●留守居。

●留守番。「(二)不在。

るすゐ

留守居(名) 「(一)留守番。「(二)武家の役名。諸侯在國中江戸屋敷の取締をする役。「(三)又

城主不在中其城其邸の取締役。

るすばん

留守番(名) 不在中の番人。

